

新年明けましておめでとうございます。

榎まほろば専務取締役
榎まほろば自然農園代表

宮下 洋子

新年明けましておめでとうございます

旧年中は、まほろばをご利用戴きまして、誠に有難うございました。

今年も、お客様のお役に立てるまほろば、喜んで戴けるようなまほろばになれるべく、日夜励んで参りたいと思います。

私事ではございますが、今年6月で70才になる事になり、農園も18年目を迎えることになりました。しかし、有難いことに、農園では、経営者としてだけでなく、現役で、収穫や配送作業にかかわる事が出来、去年は、人手が足りない事もあり、12月10日まで働く事が出来ました。

雪の下から、蒔（むしろ）やブルーシートを除けて、大根やキャベツ、味辛大根等を取り出して、ハウスに貯蔵してあるカブや青菜類なども選別したり、キレイに処理したりして、一緒に店まで運ぶのです。

一昨年は、11月26日まで働いて、露地のほうれん草や小松菜の収穫終了とともに、私の仕事も終了しています。

これまで、貯蔵した野菜類を雪の下から掘り出すことなど、一度もした事がありませんでした。これまで、そんな寒い事、自分には出来ないと思っていました。

でも、必要に迫られて、いざ、やってみると、意外と寒くないのでした。誰の手伝いもなく、一人で全工程を作業している事も、とても新鮮な喜びがありました。

農園17年目にして、こんな経験を与えて下さった神様に感謝です。また、こんな元気な体と心を支えてくれているまほろばと、農園の野菜や大地に感謝です。



一方、1年半前に、自著の予告編を出して以来、「次はまだですか？」と多くの方に催促されて、かなり、プレッシャーになって来ています。なかなか集中してまとまった時間を取ることが出来ないの、後回し、後回しになって来ました。私の計画では、農閑期の1月から2月にかけて、大体の骨格を書き上げて、今年中には出版に漕ぎつけたいかなと考えています。

さて、どんな本になるのでしょうか？

また、昨年、11月にまほろばの新しいサプリメント《アスタジー》を発売しました。

各方面で好評価を戴いて、皆様のお役に立てて嬉しい限りですが、その説明会も開きたいと考えています。

アスタジーの性質や、用法、要量等、具体的に詳しく説明し、正しく、効果的に使って戴く為の説明会を開くのは、製造販売者の義務でもあり、どんなに忙しくても是非、やらなくてはならないと考えています。

早速、1月から始めたいと思います。本店と厚別店の両方で開きたいと思いますので、ご都合のつく方は是非ご参加下さいませ。

それでは今年もよろしく
お願い申し上げます。



自然に感謝しながら新しい生き方を 共に考えて行けたら

常務取締役 本店店長 大橋 和則



新年明けましておめでとうございます。
旧年中は多くのご愛顧を承りました事、心より感謝申し上げます。

昨年は創業30周年の記念行事、初めての講演会の企画、実行などまほろばに於いて大きな節目の年でした。私が入社した昭和63年には小さな小さな苗木でしたが、あれから26年その当時描いていた事が体系的にはほぼ実現、（内部的にはまだまだですが）それなりの木に成長できたかなと思います。その間多くの風雪に耐え根幹を揺るがす問題も多々ありましたが、その都度多くのお客様にご支援頂き今が有ると思います。31年目、新たな一歩を初心に戻り、この地に深く深く根を張り巡らせ、今後起こりうる想定外の出来事にも対応できるしなやかさと強さを持ちながら、まほろばの存在意義を考え、皆様のお役にたてる様に努力して行きたいと思います。

今まで自然食品店は、特別な業界のように見られて来ましたが、本来は、当たり前の食生活が無添加であり、安全でバランスが取れている農産物は、生命力があって美味しいと感じるのではないのでしょうか。美味しい物は人を笑顔に、更に幸せを感じさせてくれ、何の説明もいりません。「本能を正しくしたければ、当たり前の食生活を当たり前にしましょう」と最近はやらせて頂いています。頭で囚われ情報だけで食べている人は要注意だと思います。その上で今後どう生きて行くのかが、これからの課題であり、まほろばの目指す「小国寡民」でもあります。（詳しくはホームページを参照して下さい）

経済の発展が人を幸せにしてきたのでしょうか？ 物質的豊かさとは逆に心は貧しくなって来ています。その証拠に日本の自殺比率が、先進国でありながら世界的にも非常に高いことが何を意味するのでしょうか？

昨今の自然災害も想定外の事が多くなって

きています。
人や世の中が自然から乖離した中で、傲慢になり過ぎた結果のような気がします。

その一方で、日本人の素養の高さが世界から注目されています。物作りの質の高さ、礼儀、勤勉、自然を敬うなど日本人が忘れかけた日本人らしさを取り戻せば、答えはそこにあるような気がします。

まほろばも今後、理想と現実をどの様に一致させて行くかが課題ですが、自然に感謝しながら新しい生き方を共に考えて行けたらと思います。

毎年、年頭に従業員教育の向上を新年の挨拶に書きながら中々実践できなく心苦しく思いますが、今年はまず自分自身を律し、自らが変わる事が最優先と考えています。

高校時代、三重県の全寮制の超スパルタ高校で学んでいましたが、トイレを汚すのは汚す人が悪いのではなく、汚されるようなトイレ掃除しか出来ないのが悪いと良く言われていました。これは日本人的発想だと思いますが、こんなに綺麗なトイレを汚してはいけないと思わせるまで掃除をしろとの教えでした。（ちなみに当時、トイレは素手で磨く）その時は中々理解できませんでしたが、今思えば「事の始まりは全て自分自身の問題と考えなさい」との教えだったと思います。

会社は社会の縮図と考え、色々なタイプの人が働いている中で、お互が客観的に物事を考え、それぞれの成長の場として、小国寡民を目指したいと思います。

今年一年が皆様にとって幸多き年になりますよう祈念致します。

あけましておめでとうございます。